

一人一人が全力で 最高の笑顔の中川いっばいに届けた 三省まつり

22日の「三省まつり・閉校記念イベント」には、例年に比べたくさんの保護者や地域のみなさんにおいていただきました。子どもたちは、144年続いてきた中川小学校の「最後の中川っ子」として、「30人一人一人が全力で、最高の笑顔の中川いっばいに届けよう！」のテーマを達成しようと精一杯取り組んでいました。当日いただいた大きな拍手と声援は、子どもたちの心の中に今も残っていることでしょう。また、多くの方々からかけていただいた「どの学年も、最後の三省まつりにふさわしい、思いのこもった発表でしたね。」という温かいお言葉は、子どもたちにとって、何よりもうれしい褒め言葉でした。本当にありがとうございました。

また、引き続き行われた「閉校記念イベント」にも、予想していた以上に多くのみなさんのご参加をいただき、大きな盛り上がりが見られました。心配していた天候もどうにか持ちこたえ、実行委員長さんを始め、みなさんの臨機応変なご対応で、予定していたイベントを全て行うことができました。

「三省まつり」という大きな行事をやり遂げた今、「まとめの1年」も残すところ6ヶ月あまりとなりました。今回の取組を通じて味わうことのできた達成感と一体感を忘れることなく、今後は、日常生活の中で「中川小のために、中川地域のためにできることは何か？」という問題意識を大切にして、「まとめの1年」の学校生活づくりに、しっかりと向き合っていくことができるように働きかけていきたいと思えます。これまでと変わらぬご理解とご協力、応援をよろしくお願ひします。



『元気いっばいな姿』と『最高の笑顔』がキラリかがやいた 中川っ子



児童の感想は次号に掲載します